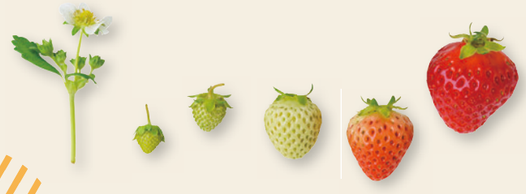

新たな農業に挑戦 vol.5

イチゴ栽培 始めました

3月にイチゴの定植を終え、いよいよイチゴ栽培が開始。
これまでのイチゴ栽培の様子をお伝えします！

4・5月

4月に入り、定植をえた4つの品種のイチは、無事に根を付け新な葉、そして花が顔をし始めました。まずは苗を大きく元気に成長せるため、花を適正な数に残すなどの生育作業行いました。

また、イチゴ栽培にして欠かせないもの、れは「ミツバチ」の存です。ミツバチがいなければ花は授粉ができず、きれいな実を付けることはありません。購入までには様々な苦難がありましたが、無事にミツバチを購入し、今では毎日ハウス内を元気に飛び回っています。

そうして、授粉を終えたイチゴの花は、やがて花びらが落ち、結実に向けた準備を始めました。

6・7月

6月に入り少しずつ払村も暖かくなり始め頃、実を付け始めたイゴは、品種それぞれ特のある香りや色合いを せ、ハウス内いっぱいにイチゴのいい香りがっていました。

そして、いよいよ初ての収穫作業が開始。穫されるイチゴは、職の手で丁寧に摘み取れ、収穫箱いっぱいにまりました。その収穫されたイチゴはQマートにて販売、一つ一つ丁寧にパック詰めされた「猿払産イチゴ」が並べられていました。

また、7月には鬼志別保育所年長児の収穫体験や給食への提供を行い、子どもたちからの「楽しかった」や「おいしかった」と嬉しい声が聞けました。

8・9月

いよいよ本格的な夏そして収穫最盛期に突し、収穫作業で大忙しす。しかし、猿払村で30度にもなる真夏日がき、ハウス内は40度近温度と職員も夏バテ気でした。また、イチゴとってもこのような暑は良いと言えません。虫が活発に動き出し、苗の病気が発生しりと、さらに生育管理目を光らせなくてはなりません。また、毎週決まった曜日に薬剤散布を行い、害虫や病気からイチゴを守っています。

また、イチゴ収穫の人手不足を解消するため、「おてつたび」というサービスを活用し、イチゴの収穫をお手伝いとして、これまで6名の方が収穫や生育作業のお手伝いに来てくれました。

今後

いよいよ、今年度のチゴ栽培も終盤に突入3月のイチゴ苗の定植らここまで、担当する員や地域おこし協力隊も全てが初めての経験いうこともあり、一つ一つ直面する苦悩や課題解決に向け、取り組み進めてきました。

今後は2棟あるハウのうち1棟は「葉物野菜栽培のため、イチゴ栽用の高設ベンチなどを解体、野菜の定植に向けた準備を行います。

また、もう1棟では、引き続き今年の初冬まではイチゴを栽培し、収穫を行います。今後も猿払村で収穫されるイチゴを皆さんにお届けできればと思います。

イチゴ名前総選挙！

猿払村が栽培を行うイチゴ「信大BS8-9（品種名）」の名前を6月から7月までの期間において名前を募集しました。なんと！集まった応募総数は816件にもなりました。ご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。

名前の最終決定につきましては、村内の小中学校全児童生徒による「イチゴ名前総選挙」を実施し、名前を決定します。決定された名前につきましては、広報11月号でお知らせします。

Topics 猿払村×堂島ロール

猿払産のイチゴが、あの「堂島ロール」とコラボしました！コラボしたロールケーキは、赤いイチゴ（信大BS8-9）を使った「練乳ジャムロール」と白いイチゴを使った「バタージャムロール」の2種類です。どちらもしっかりとしたイチゴの甘みが特徴です。ぜひ、みなさんもご賞味ください！

販売日：10月1日から
販売店：さるふつまるごと館
札幌大丸店
※札幌大丸店では、1日5～10本限定の販売となります。

練乳ジャムロール・バタージャムロールハーフ＆ハーフ
2,380円（税抜）

練乳ジャムロール
2,060円（税抜）

※まるごと館での販売価格です